

平成28年度 第1回

国民健康保険運営協議会資料

平成28年8月18日(木)

午後1時30分～

鳥栖市 市民環境部 国保年金課

目 次

- I 平成27年度鳥栖市国民健康保険の状況について 1
- II 平成27年度鳥栖市国民健康保険特別会計決算について . . . 4
- III 医療費の適正化について（平成27年度実績） 7

I 平成27年度鳥栖市国民健康保険の状況について

1 国民健康保険被保険者の加入状況について

平成27年度の鳥栖市国民健康保険加入世帯数は、前年度比で63世帯、0.7%の減少となり、8,789世帯となっています。

また、鳥栖市国民健康保険被保険者数は、前年度比で334人、2.2%の減少の14,579人となっています。

鳥栖市の全世帯に占める鳥栖市国民健康保険加入世帯の割合は、30.2%で、前年度よりも0.6ポイント減少しています。

同じく、鳥栖市全人口に占める鳥栖市国民健康保険被保険者の割合も20.2%で、前年度よりも0.5ポイント減少しています。

○国民健康保険被保険者数及び世帯数の推移

区 分		単位	平成27年度		平成26年度	
				伸び率		伸び率
市	世 帯 数	世帯	29,080	1.3%	28,698	1.3%
	人 口	人	72,201	0.3%	71,955	0.7%
国 民 健 康 保 険	世 帯 数	世帯	8,789	▲0.7%	8,852	▲0.9%
	(加入率)	%	30.2%	—	30.8%	—
	被 保 険 者 数	人	14,579	▲2.2%	14,913	▲1.7%
	(加入率)	%	20.2%	—	20.7%	—
内 訳 保 険	一般被保険者数	人	13,874	0.0%	13,876	▲0.3%
	退職被保険者数	人	705	▲32.0%	1,037	▲5.1%
	介護第2号被保険者	人	4,640	▲6.5%	4,961	▲5.5%

(各年度の人数、世帯数は、3月～翌年2月までの平均の数値)

2 保険給付費の状況について

平成27年度の保険給付費は、前年度比で約3,600万円の増、0.7%の伸びとなっています。

また、後期高齢者支援金は、前年比で1.0%の減、介護納付金は9.8%の減となっています。

○保険給付費等の推移

(単位：千円)

区 分		平成27年度		平成26年度	
			伸び率		伸び率
保 険 給 付 状 況	療養給付費・療養費	4,556,835	0.5%	4,533,833	1.1%
	高額療養費	659,364	3.0%	639,977	3.7%
	出産育児諸費	18,964	▲26.7%	25,871	▲16.5%
	葬祭諸費	3,090	21.2%	2,550	▲9.6%
	審査支払手数料	15,936	▲1.4%	16,164	2.9%
	合 計	5,254,189	0.7%	5,218,395	1.3%
後期高齢者支援金		809,094	▲1.0%	817,286	2.6%
前期高齢者納付金		570	▲12.7%	653	▲21.8%
介護納付金		303,405	▲9.8%	336,500	0.8%

3 国民健康保険税調定額・収納状況について

平成27年度の現年度分税込については、前年度比で約4,500万円、3.1%の減収となりました。

収納率は92.13%と、前年度より0.66ポイント高くなったものの、被保険者数が減少したことと被保険者の平均所得が下がったため、調定額も前年比で、約6,000万円、3.7%減少したためと考えられます。

また、滞納繰越分税込についても、前年度比で約560万円、5.9%の減少となっています。

収納率も16.36%と、前年度と比べて0.75ポイント低くなりました。

○ 国民健康保険税調定・収納状況

(単位：千円)

区 分			平成27年度		平成26年度	
				伸び率		伸び率
一般被 保 険 者	現 年 度 分	調定額	1,451,426	▲1.1%	1,467,461	0.2%
		収納済額	1,332,713	▲0.2%	1,335,732	0.9%
		収納率	91.82%	—	91.02%	—
	滞 納 分	調定額	533,269	▲0.9%	538,031	▲0.5%
		収納済額	85,980	▲3.2%	88,863	▲2.6%
		収納率	16.12%	—	16.52%	—
退 職 被 保 険 者	現 年 度 分	調定額	81,724	▲34.7%	125,216	▲24.8%
		収納済額	79,711	▲34.2%	121,146	▲24.8%
		収納率	97.54%	—	96.75%	—
	滞 納 分	調定額	18,703	▲16.7%	22,465	▲5.7%
		収納済額	4,318	▲38.7%	7,047	14.1%
		収納率	23.09%	—	31.37%	—
合 計	現 年 度 分	調定額	1,533,150	▲3.7%	1,592,677	▲2.3%
		収納済額	1,412,424	▲3.1%	1,456,878	▲1.9%
		収納率	92.13%	—	91.47%	—
	滞 納 分	調定額	551,972	▲1.5%	560,496	▲0.7%
		収納済額	90,298	▲5.9%	95,910	▲1.5%
		収納率	16.36%	—	17.11%	—
	調 定 額	調定額	2,085,122	▲3.2%	2,153,173	▲1.9%
		収納済額	1,502,722	▲3.2%	1,552,788	▲1.9%
		収納率	72.07%	—	72.12%	—

Ⅱ 平成27年度鳥栖市国民健康保険特別会計決算について

1 決算状況

(単位：千円)

	予算額①	決算額②	②－①
歳入総額	9,677,521	8,334,594	▲1,342,927
歳出総額	9,677,521	9,519,250	▲158,271
収支	－	▲1,184,656	－
単年度収支	－	▲60,441	－

2 累積赤字の状況

(単位：千円)

	平成26年度末	単年度収支	平成27年度末
平成19年度以前の累積赤字	▲789,976	40,000	▲749,976
平成20年度以降の累積赤字	▲334,239	▲100,441	▲434,680
合計	▲1,124,215	▲60,441	▲1,184,656

3 款別決算額の前年度比較

○歳入

(単位：千円)

款	H27年度	H26年度	H27－H26	増減率
1 国民健康保険税	1,502,722	1,552,788	▲50,066	▲3.2%
2 使用料及び手数料	1,287	1,348	▲61	▲4.5%
3 国庫支出金	1,935,424	1,831,613	103,811	5.7%
4 県支出金	345,140	337,019	8,121	2.4%
5 療養給付費交付金	251,667	438,234	▲186,567	▲42.6%
6 前期高齢者交付金	1,758,215	1,704,608	53,607	3.1%
7 共同事業交付金	1,957,765	1,037,001	920,764	89.3%
8 財産収入	0	0	－	－
9 繰入金	567,456	480,396	87,060	18.1%
10 繰越金	0	0	－	－
11 諸収入	14,918	44,265	▲29,347	▲66.3%
合計	8,334,594	7,427,272	907,322	12.2%

【主な増減理由】

圖款 3 国庫支出金 及び 款 4 県支出金

一般被保険者分の療養諸費*の増により療養給付費等負担金が増となったため

※療養諸費とは、療養給付費・療養費・高額療養費・高額介護合算療養費の計

○療養諸費の比較

(単位：千円)

	①27年度見込	②26年度決算	差①－②
一般被保険者分	4,917,718	4,824,197	93,521
退職被保険者分	298,481	349,613	▲51,132
計	5,216,199	5,173,810	42,389

圖款 5 療養給付費交付金

退職被保険者の減により退職被保険者に係る療養諸費が減少となったため、交付金も減額

圖款 7 共同事業交付金

共同事業のうち保険財政共同安定化事業の対象医療費が、「20万円～80万円」から、「1円～80万円」に拡大されたことで、交付金額が増大した。

圖款 9 繰入金

平成27年度から約1,700億円の国の財政支援が行われたため、保険基盤安定繰入金が増加した。

(単位：千円)

区 分	①27年度見込	②26年度決算	差①－②
事務費繰入金	64,800	66,302	▲1,502
保険基盤安定負担金繰入金	385,140	296,008	89,132
出産育児一時金繰入金	12,807	17,000	▲4,193
財政安定化支援事業繰入金	62,690	57,402	5,288
子どもの医療助成事業繰入金	3,298	3,684	▲386
特別繰入金	40,000	40,000	0
合 計	568,735	480,396	88,339

圖款 11 諸収入

交通事故等が原因による第三者納付金の減少のため。

○歳 出 (単位：千円)

款	H27年度	H26年度	H27－H26	増減率
1 総務費	68,302	73,220	▲4,918	▲6.7%
2 保険給付費	5,254,189	5,218,395	35,794	0.7%
3 後期高齢者支援金	809,094	817,286	▲8,192	▲1.0%
4 前期高齢者納付金	570	653	▲83	▲12.7%
5 老人保健拠出金	28	28	0	0.0%
6 介護納付金	303,405	336,500	▲33,095	▲9.8%
7 共同事業拠出金	1,897,487	1,015,833	881,654	86.8%
8 保険事業費	49,392	46,591	2,801	6.0%
9 基金積立金	0	0	－	－
10 公債費	828	648	180	27.8%
11 諸支出金	11,740	128,675	▲116,935	▲90.9%
12 前年度繰上充用金	1,124,215	913,658	210,557	23.0%
13 予備費	0	0	－	－
合計	9,519,250	8,551,487	967,763	11.3%

【主な増減理由】

■款 2 保険給付費

高額なC型肝炎治療新薬利用による影響額が9,000万円を超えており、新薬の利用がなければ、減額となっていた可能性がある。

■款 6 介護納付金

平成27年度から、介護保険事業における第2号被保険者の負担割合が29%から28%に引き下げられたため。

■款 7 共同事業拠出金

共同事業のうち保険財政共同安定化事業の対象医療費が、「20万円～80万円」から、「1円～80万円」に拡大されたことで、拠出金額も増大した。

■款 11 諸支出金

前々年度精算による国県及び支払基金への返還金が減額したため。

Ⅲ 医療費の適正化について（平成27年度実績）

1 特定健康診査・保健指導事業の実施

糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の予防を目的として、国民健康保険加入者で40歳以上75歳未満の被保険者を対象としたメタボリックシンドロームに着目した健康診査・保健指導を実施した。

○特定健診受診率及び特定保健指導終了率（法定報告値）

		平成27年度	平成26年度
健 診	対 象 者	9,336 人	9,451 人
	受 診 者	3,474 人	3,553 人
	受 診 率	37.2%	37.6%
保 健 指 導	対 象 者	361 人	374 人
	終 了 者	113 人	174 人
	終 了 率	31.3%	46.5%

※平成27年度の特定健診受診は見込数値

※平成27年度の特定保健指導は年度末現在の数値

2 ハイリスク者への保健指導

特定健康診査の結果、①「Ⅱ度高血圧以上（収縮期 160 mm Hg 以上、拡張期 100 mm Hg 以上）」、②「HbA1c（NGSP）7.0%以上」、③「尿蛋白2+以上、または尿蛋白（+）かつ尿潜血（+）」、④「eGFR50 未満（70歳以上の方はeGFR40 未満）」、⑤「LDLコレステロール 180mg/dl 以上で脂質未治療」、⑥「中性脂肪 300mg/dl 以上で脂質未治療」のいずれかに該当する方についても家庭訪問を行い、重症化予防のための保健指導を実施した。

○ハイリスク者への訪問指導実施状況

	平成27年度	平成26年度
①	147件	138件
②	193件	90件
③+④	142件	102件
⑤+⑥	190件	52件
計	672件	382件

3 人間ドック・脳ドック助成事業の実施

国民健康保険被保険者の健康の保持及び増進並びに疾病の予防及び早期発見のため、人間ドック・脳ドックに係る費用の半額を助成している。

○人間ドック等助成事業の実施状況

年度	区分	受診者	要精密検査 要治療	2次 受診者数
平成 27 年度	人間ドック	128 人	108人	96人
	脳ドック	85 人	40人	34人
	合計	213 人	148人	130人
平成 26 年度	人間ドック	143 人	114人	105人
	脳ドック	48 人	19人	15人
	合計	191 人	133人	120人

4 医療費通知の発送

国民健康保険被保険者に医療機関等に受診した医療費の総額を通知することで、健康に関心を持ってもらうとともに、医療費に対するコスト意識を高めてもらうことを期待し、年 6 回、医療費通知を発送している。

○医療費通知発送状況

年 度	発送枚数	1 回平均発送枚数
平成 27 年度	40,979 通	6,830 通
平成 26 年度	41,092 通	6,849 通

5 ジェネリック医薬品の普及啓発

現在服用している新薬（先発医薬品）からジェネリック医薬品（後発医薬品）に切り替えた場合、薬代の自己負担額がどのくらい軽減できるかを試算したジェネリック医薬品差額通知を年 4 回発送した。

○ジェネリック医薬品差額通知発送状況

年 度	発送枚数	1 回平均発送枚数
平成 27 年度	2,946 通	737 通
平成 26 年度	2,380 通	595 通

6 重複・頻回受診者への訪問指導

同一傷病で3医療機関以上を受診している重複受診者や、異なる傷病で同一月内に4医療機関以上で、15回以上受診している頻回受診者のうち訪問指導が必要と思われる者に対し、保健師、看護師等が訪問し、適正な受診の指導を行うことにより、傷病の早期回復を目指すとともに、医療給付の適正化を図った。

○実施状況

年 度	区 分	計 画	訪問指導実施
平成 27 年度	頻 回	0 件	0 件
	重 複	4 件	2 件
	そ の 他	54 件	37 件
	合 計	58 件	39 件
平成 26 年度	頻 回	3 件	3 件
	重 複	4 件	3 件
	そ の 他	89 件	56 件
	合 計	96 件	62 件

7 レセプト点検の実施

同一受診者、同一医療機関における診療内容の照合等の内容点検や、長期間に渡り繰り返し行われる診療行為のチェック等の縦覧点検、そのほか、資格過誤の再審査等請求処理、第三者行為疑いレセプトの抽出等のレセプト点検調査を毎月実施した。

○レセプト点検実施状況

年 度	資格点検枚数	内容点検枚数
平成 27 年度	255,597 枚	255,597 枚
平成 26 年度	251,965 枚	251,965 枚

8 慢性腎臓病予防のための腎臓相談会の実施

慢性腎臓病分類の軽度～中等度低下に該当する人（G3a 以下）及び蛋白尿 1+以上の人を対象に、腎専門医による慢性腎臓病予防のための腎臓相談会を3回開催した。